

令和8年度都立若葉総合高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	よりよく「読む」「書く」「聞く」「話す」ための基礎力育成の充実	<ul style="list-style-type: none"> 単元の特性を生かした言語活動の充実（意見を書く、他の意見を聞く、印象を話し合うなど） 成果の共有とフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> より高度な文章を書く、テーマについての議論・討論を行う 聞き取った中身を文章などに再構成する
地理歴史 公民	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に参加することのできる授業の実施 各探究科目の基本となる選択科目を設 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的・対話的に学ぶことのできる授業の実施 各探究科目と総合的な探究の時間の接続
数学	基礎力の定着と数学的な見方・考え方への指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に論理的に考察する授業への工夫 生徒の理解や希望進路に応じて適切に学習ができるような選択科目を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎力の定着とともに、発展的な内容を考察する力を身に付けることを目指す 計算の技法や問題解決に向けた考察を、他者に説明できる力が身につくことを目指す
理科	基礎力を確立する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 計算力を含め、基礎的な学力の確立を目指す 幅広い難度の問題に挑戦する 	複合的な現象（問題）を理解し、その内容を他者に説明できる能力を養う
保健体育	生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力の育成	毎時間体づくり運動を行い体力を向上させる。また、スポーツにおいて『する・みる・支える・知る』から自己の適性等に応じた関わり方を学ぶ	総合高校の特色を活かし、選択科目の充実を図り、より専門的な知識・技能を身に付けさせる
芸術	主体的な表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 基礎から応用まで幅広い表現を身に付ける 学習意欲と思考力、表現力を伸ばす 	<ul style="list-style-type: none"> 分野横断的な課題への取り組み 校内発表やコンクールへの応募
外国語 (英語)	「話すこと」指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 全年次で音読テスト又はパフォーマンステストの実施 全年次でJET又はALTとの授業を設置してスピーキング活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 実践英語の授業でプレゼンテーションを実施 実践英語の授業でJETと個別に話す時間を確保 英語会話の授業で毎週JET/ALTとスピーキング力を強化 論理・表現IIで調べ学習をもとにしたプレゼンテーションを実施
家庭	生活科学的な視点の導入	<ul style="list-style-type: none"> 生活を科学的に捉える視点から、生活の問題に気付かせる 実践的に取り組む活動を重視する 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を振り返ることで考察を深める 生活を改善をしようとする態度を育成する
農業	<ul style="list-style-type: none"> 園芸及び食品に関する基礎的・基本的な技術・技能の習得 望ましい勤労観・職業観の育成 安全への配慮 法令の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> 主な野菜（ナス科・ウリ科・アブラナ科など）の栽培 主な草花（花壇資材など）の栽培 食品衛生法に遵守した安全な食品製造 実習後のレポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決学習（マイプロジェクトII）との接続 地域と連携し、地域資源や人材を授業の中に取り入れる（産学連携）。 農学系上級学校への進学支援
情報	「課題解決」につなげる実習の充実	<ul style="list-style-type: none"> スマスク端末の積極的な利用促進 民間補助教材を導入し、スマスク端末を活用した自学自習環境を整備 総合学科におけるキャリア教育の目標を踏まえ、情報系資格試験の取得推進とそのための支援 	<ul style="list-style-type: none"> 専門教科「情報」の授業内容を充実させ、専門的なクリエイティブツールを使用できる環境を整備 授業以外でもコンピュータ教室を開放し、放課後・夏期講習会などを実施、教科の枠を越えた情報活用能力を身につける指導の開発
商業	ビジネスの場で求められる基礎的なマナーの育成	日常生活での実践を促す	各種の検定試験に挑戦し、合格を目指す
福祉	考える前提となる「知ること」を理解し実践する	様々な福祉事象から、必要な「知ること」を学び取り、思考に反映させる	実際の福祉事象の解決策を考える。ただし、同じ課題は存在しないので、知識と思考によって試行錯誤しつつ最適解を求める